



## 餅つき大会に参加して

1年生 樺 亜由美

令和4年12月8日（木）に愛生園の行事である「餅つき大会」に参加しました。男子学生は、医師、栄養士、看護師、介護士等の職員に交じり、杵での餅つきを手伝いました。餅をつく際には、入所者の方々と一緒に掛け声をかけながら、楽しく餅つきを見学することができました。

私たち女子学生は、職員がきな粉餅やぜんざいに作ったものを、入所者さんの希望を聞き配膳し、安全においしく食べていただけるようお手伝いしました。

入所者の方は、ハンセン病の後遺症で驚手になっている方もいました。入所者の方が自分で食べられるように、その方に合わせた自助具を使用されており、「美味しいですか」「ゆっくり食べてください」など声をかけながら関わりました。ひとりひとりに合った自助具の選択をすることの大切さやその方のペースに合わせた関わりを学びました。また、高齢者の特徴として、嚥下機能低下や咀嚼力の低下があり、詰まりやすく窒息が起こりやすい特徴があります。そのため、餅を小さく作り食べやすい大きさにする工夫がされていました。高齢者が安全にお餅を美味しく食べることができるよう工夫がありました。

入所者の方々は、「つきたては美味しい」「たくさん食べたよ」と笑顔で話されました。初めての餅つき大会に参加して、充実した時間を過ごすことができ、良い経験になりました。

この経験をこれからの学習に生かしていこうと思います。



よいしょ！

「自分の自助具があれば食べれるよ」と、教えて頂きました。



よいしょ！

